

2)中流右岸地域協議会の開催経緯

年度	開催回数	審議内容
平成21年度	協議会 1回	・ 中流右岸地域協議会の設置
平成22年度	協議会 2回 地区会議 4地区各1回	・ 大塚地区公園整備計画素案作成 ・ 鳥飼下地区公園整備計画素案作成
平成23年度	協議会 2回	・ 大塚地区公園整備計画策定 ・ 鳥飼下地区公園整備計画策定
平成24年度	協議会 1回	・ 公園整備計画の進捗状況確認
平成25年度	協議会 1回	・ 三島江野草地区の現地見学 ・ 三島江野草地区の整備経緯 ・ 三島江野草地区の今後の整備と管理運営のあり方の検討

平成26～28年度は、上流域の背割堤地区(淀川三川合流域さくらであい館)の整備に集中

3

3)前回協議会の検討内容

■前回の議題

開催日：平成25年8月28日

会場：高槻市三箇牧公民館

<議事>

三島江野草地区の今後の整備・維持管理のあり方について

<現地見学会>

三島江野草地区



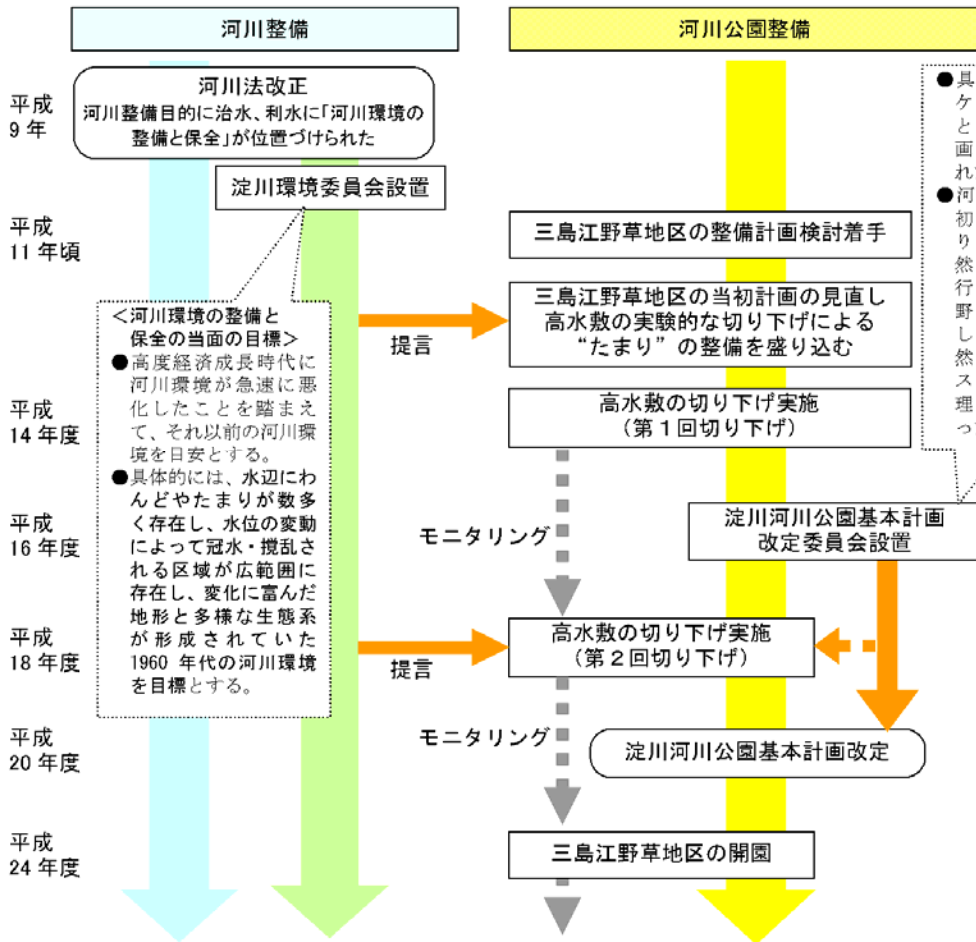
4

3) 前回協議会の検討内容

前回の審議資料

高水敷切り下げ事業導入の背景

(平成25年度第1回淀川河川公園中流右岸地域協議会資料-2より抜粋)



3) 前回協議会の検討内容

高水敷切り下げ区域の管理方針

第1回淀川河川公園中流右岸地域協議会
平成25年8月28日
資料-3

(1) 植生管理方針

- 目標: 「ヨシ原を中心とした淀川に本来見られる多様な河川植生を再生する。」
- 原則として「川に任せる」とし、冠水・攪乱の影響を頻りに受ける地形形状を整え、淀川にふさわしい植生の出現を期待
- 望ましい利用が困難になるほど植物が繁茂する場合は年1~2回程度の草刈りを実施
- 特定外来種の侵入などが認められる場合は、駆除を行うなど最低限の管理を実施

(2) 利用イメージ

- Ⅱエリア やや湿った立地の草原: 利用には許可が必要です
- ・時々水につかる、やや湿った場所です。
 - ・湿性立地に分布する一年生植物群落が発達する環境を目指します。
 - ・許可が必要ですが、水につかっているときは、ガイド等と一緒に自然観察等の利用ができます。
 - ・草刈りは管理用道路沿いのみとします。
 - ・夜間や川の水位が増水した場合は、利用できません。

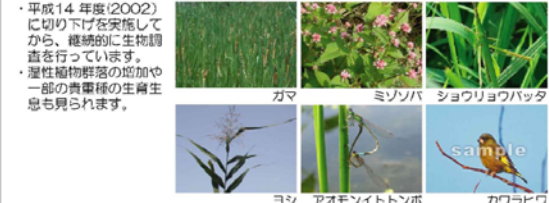


- Ⅰエリア 乾燥した草原: 自由に利用できます
- ・年に数回程度水につかる場所です。
 - ・年輪を通じて、あまり肥水しない高さの野草の広場なので、体罰や散策、虫取りなど子供の遊びが出来ます。
 - ・園路沿いに傘を刺した小広場を設置し、観察会などで少人数の団体が滞在・脱帽などを行います。
 - ・植生管理については、原則として川に任せます。
 - ・利用できないくらい繁茂した場合は、適宜草刈りなどを行います。

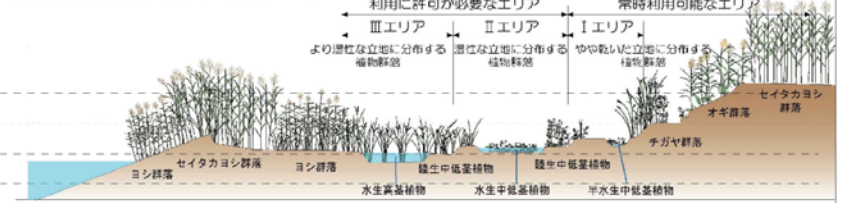
- Ⅲエリア 池と湿地の草原: 原則立ち入り禁止とします
- ・年間を通じて水につかる湿地です。
 - ・より湿性な立地に分布する植物群落の生育する環境を目指します。
 - ・池は、ほぼ年間を通じて水が溜まった状態となるため、池が媒介する水生生物の生息場となるように整備を行います。
 - ・学術調査や河川管理等必要時以外は、原則立ち入り禁止とします。

● Ⅰ・Ⅱエリア: 常時利用可能
● Ⅲエリア: 利用には許可が必要

●三島江野草地区の代表的な水辺の生物



●期待される水辺の植生のイメージ



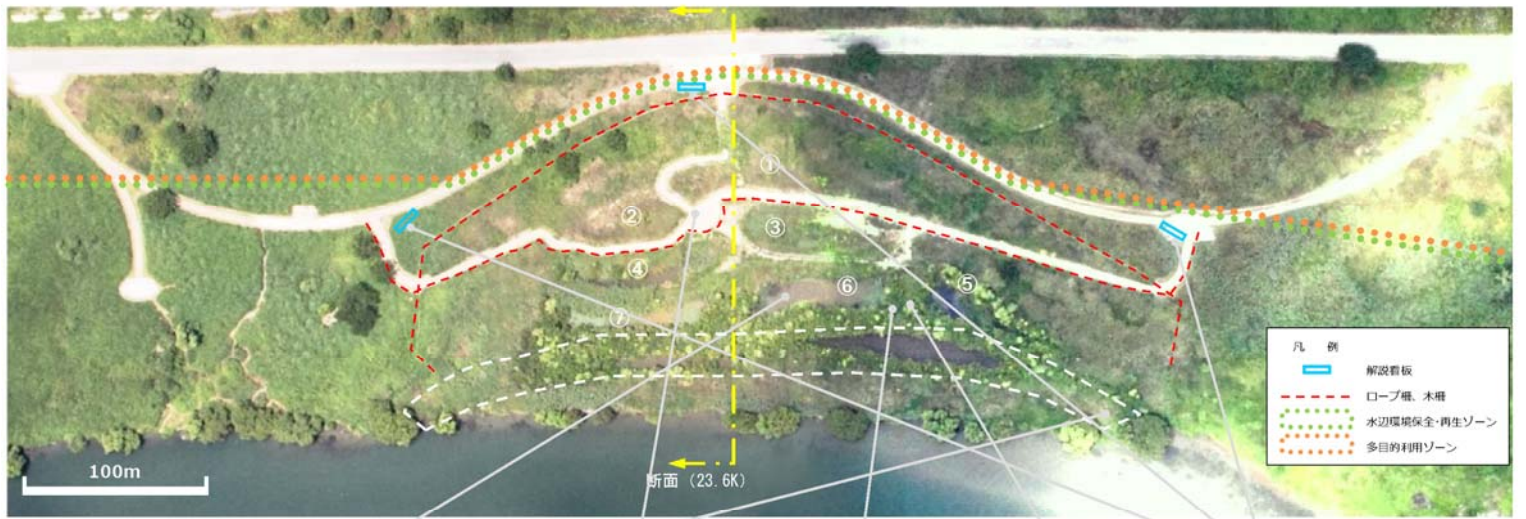
(以上の出典: 淀川河川事務所資料)

3) 前回協議会の検討内容

(平成25年度第1回淀川河川公園中流右岸域
地域協議会資料-4より抜粋)

第1回淀川河川公園中流右岸域地域協議会
平成25年8月28日
資料-4

三島江野草地区切り下げ区域とその周辺の現状と課題



(撮影：平成25年7月)

現状

池(2、3段目の③～⑦)の冠水
頻度が計画よりも少ない

水路の閉塞

課題

利用手続きが分かりづらい

植生管理の基準が未確定

運営管理への地域住民の
参加が少ない

三島江野草地区の存在意義に
ついての情報発信の不足

7

3) 前回協議会の検討内容

■ 前回の審議結果

【主なご意見】

- ・ 現実には人の手を介さないと淀川にふさわしい植生が出現しない。放置すれば外来植生が増え、本来見られる多様な河川植生が見られなくなっているのが現状である。
- ・ 草刈りや清掃などを学生ボランティアなどで行っているが、地元の方々の参加には至っていない。
- ・ ヤナギの幹がペットボトルよりも太い状態まで育ち、住民参加では対応ができないような状態である。
- ・ 切り下げ地区をどう利用するのかという議論をしたほうが早い。
- ・ 住民は淀川に興味を示していないというのが実情であり、呼び掛けがもっと必要ではないか。

8